

# 日本の伝統文化教育

## 研究キーワード



- 伝統文化（景観・建築・工芸・芸能・芸道（茶道・華道）・武道など）
- 伝統産業（工芸（陶芸・染織・漆器・木工・金工・和紙・）など）
- 観光（接遇（ホテル・旅館・料理・菓子・もてなし・しつらい）など）

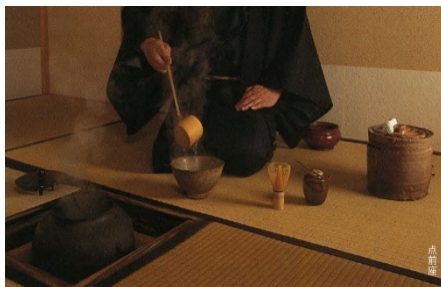
## 連携アピール



- 日本の伝統文化の全般について、調査・研究・教育をいたしております。東京生まれ→京都に17年→伊勢に14年となります。担当授業は「伝統建築論」「伝統工芸論」「伝統芸能論」「日本礼法論」などです。「茶の湯文化学会」の理事も務めております。
- 日本人の心・大和魂を復興する伝統文化教育をめざしております。
- 建築設計事務所勤務では、浦添市美術館、吹上新御所・京都迎賓館（計画）などを手掛けてきました。一級建築士、博物館学芸員資格を持ち、構想力、企画力、統合力を有し、「伊勢の伝統工芸展」展示・シンポジウム・映像、図録編集を手掛けました。
- 地域社会においては、文化催事、観光、おもてなし、産業、建築、工芸、芸能、茶道、華道、武道など、日本の伝統文化の発展、世界への発信に寄与させていただけましたならばと存じております。

## 本研究の概要

- 本研究は、日本の伝統文化をより正しく輝かしく継承してゆくことをめざしています。
- 育鵬社「中学・公民」教科書では、「日本の伝統文化の一覧表」を作成しました。
- 夏の教員免許状更新講習で、幼小中高の先生方に、その方法論を伝授いたしました。
- R03夏から翌夏まで1年間、派遣研究制度にて、ロンドン大学SOAS日本研究所の客員研究員として「英国における日本の伝統文化」などの研究をさせていただきました。
- 伝統文化教育にて、日本人の心・大和魂が幾代までも伝えられていくことを祈っています。



## 研究者



岩崎 正彌（いわさき まさや）  
現代日本社会学部現代日本社会学科 准教授

